第7回山ノ内町立小学校統合準備委員会 次第

日時 令和5年10月13日(金) 午後6時30分~ 場所 役場401会議室

			場所	役場401会議室	
1	開	会			
2	あいさ	ミ つ			
3	会議事 (1) 小学	4項 校統合にかかる地区・保護者懇談会の結	果につ	いて	
((2) 山ノ	内町総合教育会議(9/27 開催)の結果に	ついて	-	
((3) 今後	の進め方について			

- 4 その他
 - (1) 次回日程 令和 年 月 日
- 5 閉 会

9月19日 時点

月日	曜日	対象	会場	参加者
7月22日	土	前坂区	前坂研修センター	10
7月23日	日	戸狩区	戸狩公会堂	14
		夜間瀬本郷区	夜間瀬本郷区民会館	8
7月25日	火	沓野組	沓野伝習館	15
7月27日	木	横湯組	渋コミュニティーセンター	10
		湯田中区	湯田中区共益会館	16
7月29日	土	沓野区育成会	文化センター3階	10
8月3日	木	菅区・寒沢東区	菅集落センター	10
8月4日	金	穂波温泉区	穂波コミュニティーセンター	15
		須賀川区	すがかわふれあいセンター	25
8月6日	日	宇木区	宇木区民会館	14
8月7日	月	渋湯組	渋コミュニティーセンター	10
8月10日	木	上条区	上条研修センター	11
8月17日	木	佐野区	佐野人材センター	10
8月20日	日	湯田中区育成会	湯田中区共益会館	18
8月25日	金	横倉区	横倉集会所	16
8月26日	土	保護者	文化センター	11
8月27日	日	保護者(保護者有志)	ほなみふれあいセンター	8
		保護者	よませふれあいセンター	16
9月2日	土	一般	文化センター	17
9月3日	В	一般	よませふれあいセンター	18
9月14日	木	一般	ほなみふれあいセンター	18
9月16日	土	保護者	ほなみふれあいセンター	13
9月19日	火	一般	すがかわふれあいセンター	9

小学校統合にかかる地区・保護者との懇談会結果

【地区懇談会の状況】

- 令和5年7月22日から9月19日のうち20日間(24回)
 - ・内訳:対象団体別数 区長会 14 回 一般者向け 4 回 保護者向け 6 回
 - ・参加者 延べ322名(10月13日現在) うち保護者(育成会含む)76名

目的:長年議論を重ねてきた小学校の統合について、令和5年3月に町長、町議会からもう 少し議論を重ねてほしいとのことから住民・保護者から直接対話を通して小学校統合に ついて、魅力ある教育・学校づくりについて、意見をいただくために懇談会を開催。

【整備計画について】

令和5年3月に統合準備委員会により中学校敷地に小学校をまとめ、小中連携をして教育を行っていく方針として整備計画(案)をまとめた。

【主な意見等 約160件】

○ 中学校敷地への1校統合に関してのご意見

発言例…整備計画案のとおり進めてもらえればよい。

これまで議論されて中学校敷地になったのに、また、既存小学校に統合するような話は混乱を招くだけである。余計なことはしないで早く進めてほしい。など

○ 中学校敷地以外の1校統合に関してのご意見

発言例…・少人数のほうが目がかけられる。学級の人数が少ないからいけないというの は根拠がない。など

○ 統合全体に関すること

発言例…子どもにしわ寄せが出ているのではないか。統合の時期が無駄に先送りになるだけで、子どもたちを第一優先として考えてほしい。学年の児童数が増えればできることもあるし、楽しみな気持ちを持っているかもしれない。大勢でできるように大人が段取りをするべき。

- ・統合が先延ばしになればまた改修を繰り返していくのか。また余計な費用がかかる。
- ・豊富な自然と国内外にも劣らない観光地がある。ほかでは体験できない場所に住んでいるのも魅力。0ベースからの統合はとても魅力あり。私立でしかできないことなど公立でも出来たらと思う。通う児童、通わせる保護者、町の人々がわくわくするような学校づくりのできる統合になってくれることを期待する。など
- その他の意見
 - ・財政面・コスト ・空き校舎の利活用 ・若い世代の意見を重視すべき
 - ・多くの人数で学べる環境を
- ・プール・体育館・グラウンドについて
- ・体育の教育について など

【意見等一覧】

【統合に関するご意見等】 ※網掛けは保護者からの意見

ご意見	項目	主な発言等要旨
早急な1校統合希望	○中学校敷地の1校統合に関して	・統合を早く進めてほしい。・整備計画案のとおり進めてもらえればよい。・統合するのは決まっていた中で、話をまた戻して町民の意見を聞くようなことはしないで進めてほしい。
		・10年以上前は、少人数のほうがいい教育ができるので統合する必要がないという意見もあり一理あると思ったが、今は統合が決まってきている中で、また元に戻す必要はない。
		・これまでの議論を尊重して中学校敷地への新築を進めてほしい。・そもそも町長が既存の小学校の検討をするという考えが間違ってるので早く中学校敷地への統合を進めてほしい。
		・場所はどこでもよいと思うけど、東小、南小、西小、山中のいずれかという話になれば、多くは中学校敷地がいいという話になる。
		- 準備委員会等で中学校敷地の統合として決まった日程が遅れることは町にとってもマイナスでしかない。また各地や住民の意見を再度集め、議論することで計画が遅延しないように。
		・中学校統合時、地域によって意見があったが中学校統合の経験があるので、統合小学校を中学校敷地にもっていくということなら賛成するという考え方が多いと思う。
		・既存校舎が防災上危険ならばなおさら早く新しい統合小学校に移してもらいたい。
		・願いは早く一校統合をという思いが数十年前からきている。
		・統合が遅くなれば今いる保護者の子どもはみんな卒業になってしまう。そんな議論をやっていても意味がない。早く統合できるよう進めてほしい。
		・準備委員会により整備計画案ができ、ひっくり返すというのは委員たちに失礼。整備計画案をこのまま進めていく中で、良い意見を取り入れていただき進めてもらえればよい。
		・地域エゴの一番少ない場所が中学校敷地。中学校も今の敷地へ一校統合になった経過もある中で、小学校を東や南、西という議論は揉める要因でしかない。
		・今後部会にて具体的なことを検討していくことになっていた。これまでの経過を大切にして、後戻りや先送りは避けてほしい。
		・令和8年に統合ということで動いていたのに、新町長になりまた1からなのかという気持ち。また何年も延びるのかと。
		・先のことを考えれば、既存小学校の改修よりも新築の校舎のほうがよい。
		・現在、子どもが保育園の年長。早く統合してほしい。
		・保護者は「早く統合してほしい」と思っている。小学校と中学校を分ける必要もない。

【統合に関するご意見等】

※網掛けは保護者からの意見

ご意見	項目	主な発言等要旨
子どもを重視	○統合全体に関して	・子どもにしわ寄せがいっているのではないか。・統合の時期が無駄に先送りになるだけで、子どもたちを第一優先として考えてほしい。
		・小学校の統合で重要なのは、場所ではなく仲間(友達)が大事である。
		・将来、山ノ内町を背負っていく子どもたちの環境として整備され設備が整った学習環境は必要と思う。
		・既定の考え方にとらわれず、いろいろな子が受け入れてもらえる学校にしてほしい。
		・整備計画案は様々な方の意見を集約したものではないのか。計画どおりに統合を進めるべき。統合が遅れることが子どもたちにとって一番のデメリット。
		・町内少年野球チームが去年から1チームに統合。当初は課題があるかと危惧されたがスムーズ運営できている。統合も進めてみれば大きな問題もなく進むのではないか。
		・大きい集団の中でも少人数編成や環境整備を進めることはできる。子どもたちにとってどんな環境がいいのかを考えるべき。
		・西と北が統合したとき、できることが増えた。子どもありきの学校、子どもを前面に考えて検討してほしい。
		・統合は一刻も早くしてもらいたい。子供が少ないためPTA役員も何度もやらなくてはならず、共働きはとても負担大。クラスの人数が少ないことで、人間関係も狭くなり、成長できない。
		いじめなども人数が少ないことにより、クラス替えもなく6年間同じ顔ぶれで子供の逃げ場がなくなり、不登校にもつながると思う。
		・豊富な自然と国内外にも有名な観光地がある。ほかでは体験できない場所に住んでいるのも魅力。0ベースからの統合はとても魅力あり。私立でしかできないことなど公立でも出来たらと思う。
		通う児童、通わせる保護者、町の人々がわくわくするような学校づくりのできる統合になってくれることを期待する。
		・場所についての説明を丁寧にされているが、安心して楽しく通える学校ならば場所はどこでもよい。
		・自分が小学校の時、やりたいスポーツのクラブがなく中野市へ通っていた。中学から始めても早く始めた子との差が出るため、やりたいスポーツ等が早く始められる環境を。
		・クラブや委員会の数が減って選択肢が少ない現状。子どもは友達がやっていたり誘われたりして活動に参加するが、それができない。暫定的でもいいから、ひとつにしてクラブ などの選択肢を増やしてほしい。
		・不登校の児童生徒が増えている。統合したときに居場所があるようになるとよい。
		・統合によって子どもたちの環境が変わることが不安。
		・プールや格技室を取り壊すことで運動の機会が減らないようにしてほしい。新たな施設等あれば。
多くの人数で学ぶ	○統合全体に関して	・学年の児童数が増えればできることもあるし、楽しみな気持ちを持っているかもしれない。大勢でできるように大人が段取りをするべき。
	○統合全体に関して	・たった4人で30分以上歩いて登校している。
	○統合全体に関して	・統合して同じ場所で過ごし、多様な価値観を学ぶことが必要。学校は勉強するだけではない。ある程度の規模はあったほうがよい。
	○統合全体に関して	・少人数で一人ひとりに目を配るのはいいが、色々な子がいて色々な意見を聞き、自分を高めていける。
	○統合全体に関して	・早く大人数の環境で学ばせたい。中学敷地では狭いと思っていたが、説明を聞いてやってやれないことはないと思った。
	○統合全体に関して	・少人数学級での男女比の偏りは困る。その点も検討を。・統合すればクラス替えも可能となる。・子どもは大勢でワイワイというような交流を求めている。

【統合に関するご意見等】

※網掛けは保護者からの意見

ご意見	項目	主な発言等要旨
既存校舎改修による活用	○統合小学校の環境について	・義務教育9年間を総合的に進めていくにしても、西小でも問題ないとは思う。歩くのが大変だったら役場のバス等を使えばいい。
	○統合小学校の環境について	・新しい小学校ができても、既存の小学校で例えば授業や運動会をやるのはどうか。(6年男子)
	○統合小学校の環境について	・小さい学校、大きい学校があってもいい。西と南を残して、東の児童はどちらでも選べるようにするのもよい。・2校を残して徒歩通学で来るようにしてほしい。
	○統合小学校の環境について	・統合後のプールや体育館は需要があるかもしれない。老人施設などの使い道や活用できる方法があるのでは。飯山市などの例も参考にしてほしい。
	○統合小学校の環境について	・山ノ内の魅力は「自然」である。中学敷地だとこぢんまりとしてしまう。西小学校の敷地には川もリンゴ畑もあり、本物に触れられる学校だと思う。
	○統合小学校の環境について	・移住による人口増のための政策(経済対策、住宅等)が重要。自然をアピールして魅力づくりをしていく必要がある。周りに畑もあり土地を広げることもでき西小敷地が良いと思う。
	○統合小学校の環境について	・人を呼び寄せるためのゴールが新築校舎なのか。中身をバージョンアップすることで魅力ある学校になるのではないか。古くても中身に魅力があればいいと思う人もいる。
財政面	○統合全体に関して	・町長が言っている財政的な視点で建設コストの問題はあると思うが、統合についてはこれまでの議論を尊重してで中学校敷地への新築を進めてほしい。
	○統合全体に関して	・結局お金の問題であれば、町長が頑張って国や県へ予算を出してもらえるように意見したらいい。
	○統合全体に関して	・統合が先延ばしになればまた改修を繰り返していくのか。また余計な金がかかる。
	○統合全体に関して	・改修の繰り返しや老朽化による改修で無駄な経費がかかるとアピールしたほうが話は早い。教育の魅力とは人それぞれ。ランニングコストを考えれば統合したほうがよい。
	○統合全体に関して	・単純計算ではいかないと思うが、新築と改修の費用の差を教育の充実に充ててはどうか。
若い世代の意見を重視	○統合全体に関して	・保護者の意見を聞いてほしい。・これからを担う若い世代の意見を尊重すべき。・年配者の反対意見よりも若い世代の意見を重視し、取り入れてほしい。
通学路・通学方法	○統合全体に関して	・登下校の不便を考えても、早く統合の話を進めてほしい。
	○統合全体に関して	・スクールバスでの通学により、歩かなくなることでの体力低下が不安。
	○統合全体に関して	・通学は主にスクールバスになると思うが、保護者の送迎の際の駐車場の確保を。(車の転回のため)・車が集中するため、安全の確保を検討してほしい。
空き校舎の利活用	○統合全体に関して	・育ちや学びの場、放課後の学びの場、研修センターなど利活用方法はいろいろある。ただ、東も南も西も長寿命化(耐震)工事の実施時期を迎えているため一部既存校舎の改修は必要。
	○統合全体に関して	・空き校舎が出てくる。後利用も考えてほしい。・後利用については住民の意見を踏まえ有効活用してほしい。・幅広い年齢が利用できる児童館のような施設があるとよい。
	○統合全体に関して	・低学年のうちは体力づくりとして歩いて学校に行ける学校へ通うなど地域に近くの既存小学校)に通い、高学年は中学校敷地の統合小学校へ通うことはできないか。
プール・体育館・グラウンドにつ いて	○統合小学校の環境について	・中学校敷地と建設することで中学校プールがなくなる。民間の施設・設備を活用することで維持費・人件費の面でも費用をおさえられると思う。
	○統合小学校の環境について	・小中が同じ敷地の他の自治体で、校庭や体育館の共有がうまくいかず授業に影響が出た例がある。それぞれ専用のものがある案で進めてほしい。
	○統合小学校の環境について	・バス等で民間のプールを使うのは現実的ではない。時間の制約もある。
	○統合小学校の環境について	・グラウンドと体育館について、小中の授業で共有できるところがあると思うが、重複しないようにグラウンドと体育館は別々に整備してほしい。
体育の教育について	○統合小学校の環境について	・グランドや体育館の体を動かす授業や海なし県なので水泳授業もぜひ力をいれてほしい。
先進的な教育環境の取入れ	○統合全体に関して	・野沢温泉村のように先進的な地域の学校を参考にしたらどうか?

【統合に関するご意見等】 ※網掛けは保護者からの意見

ご意見	項目	主な発言等要旨
整備計画案について		・計画案のめざす教育は今からでも取り組める。新校舎が完成しないとできないというものではないと思う。
	○統合全体に関して	・教育の中身(魅力ある学校教育)については別に切り離して、教育の中身は建設する建物に付随して検討していけばいいのでは。
	○統合全体に関して	・山ノ内の魅力を示すのは必要。ESDも効果が出てきている。
	○統合全体に関して	・ESDは今も取り組んでおり、効果があると思う。「夢見る町づくり討論会」でも町のことを考えて発表していた。
	○統合全体に関して	・ICT教育における、教員による格差が不安。
	○統合全体に関して	・不登校や、特別な支援が必要な児童への体制を充実させてほしい。
	○統合全体に関して	・特別支援教育について、統合すれば人数が増える。その中でどう重点化していくのか中身が見えてこない。ICTも先生が変わる中で継続的に取り組めるのか。
	○統合全体に関して	・外国籍の児童が増えると思うが、なじみづらくならないように。
統合その他(小人数教育)	○統合以外	・多様な子どもたちがいる中で少人数の学校だからこそ魅力ある学校という考えもあるのでは。・統合により受け持つ人数を大勢にして、先生方を忙しくさせるというのはおかしい。
○統合以外 子どもたちに還元される効果があるとは思えない。いい先生が(小人員		子どもたちに還元される効果があるとは思えない。いい先生が(小人員数で)余裕もって子どもたちを教える環境がいいと思う。
	○統合以外	・少人数や児童の減少はマイナスなのか。少人数だからできることもある。今は個の時代であり、人数が増え少ない意見が消されるようなら少人数のままでよい。
	○統合以外	・発表などはかえって少人数のほうができる場合もある。
	○統合以外	・少人数のほうが目がかけられるため少人数がよい。学級の人数が少ないからいけないというのは根拠がない。
	○統合以外	・特別支援について、統合で人数が増えると対応できる支援員も必要になる。確実にできるのでなければ統合はやめてほしい。
	○統合以外	・小学校の時は少人数で中学校で一緒になればいい。
統合その他(教員について)		・単級だと、先生は一人で学年の仕事をしているため負担が大きい。
統合その他(統合の情報発信)	○統合 (その他)	・統合についての最終的な決まった時の情報発信について、早く知りたい。前回北と西小の統合時、当時PTAの役員をやっていたが統合決定の情報を知ったのはローカル紙だった。
その他(中学校との連携)	○統合 (その他)	・新しい校舎のオープンスペースなどで自由な学習ができるとして、中学校の校舎は今と変わらず、中学生になると教室に閉じこもるようになるのが、残念。
	○統合(その他)	・小中連携は必要。小学校でも教科担任制で学力をつけることができる。先生も小中連携で負担が減る点もあるのではないか。
	○統合(その他)	・小中一貫はすべきではない。中学生になると学習に充てる時間が多く必要。保小の連携を密にするほうが大切ではないか。
	○統合(その他)	・小学校をオープンスペースの教室にして、中学校は既存施設のままというのはどうかと思う。小中の交流を図るのであれば施設も統一性があったほうがよい。

【統合に関するご意見等】 ※網掛けは保護者からの意見

ご意見	項目	主な発言等要旨
その他(地域との連携)		・不審者や安全面で心配があるが、地域の人がいると抑止力になるのでは。地域の人は子どもと接する機会が増え、子どもは地域の人からいろいろなことを学べる。お互いにとってメリットになる。
その他(施設関係)		・新しい学校(イメージ図)は大学のような自由な感じでよいアイデアだと思う。いろいろなメリットがあると思う。
統合全般について	○統合(その他)	・これまでも議論は重ねてきているだろうが、方向が変わっても「あともどり」にはならないと思う。
	○統合(その他)	・統合に反対はしない。統合しなければダメ。・いつまでも話し合いを継続しても、反対の人もいるし結論は出ないのでは。どこかで決断して進めてもらうしかない。
	○統合(その他)	・廃校を嘆く声ばかりが多く話が先に進んでいかない。個人の意見を拾いすぎて話がまとまらない。建物や敷地の話が先行している。
	○統合(その他)	・統合することによって山ノ内町の小学生にどんなメリットがあるか。今以上の新しい教育内容になるのか。他の地域が憧れる教育ビジョンの上での統合なのか。
	○統合(その他)	・民意の集約をもっと全体(地域住民、保護者や教員)の意見を聞けるようなことをして集約してほしい。
	○統合(その他)	・統合は必要だと思う。ただし中学校敷地は狭いと感じる。給食センターをつぶして30億をかけてまでやる必要があるのか疑問である。
	○統合(その他)	・教育の理念を考えることと建物の件は並行して検討を進めてほしい。
	○統合(その他)	・開校年度を決めて、そこを目指して進んでほしい。また町長が変わったら、、、ということがないようにしてほしい。
	○統合(その他)	・統合する前に子どもたちは卒業していく。今いる子どもたちについてもあるべき姿を考えてほしい。

令和5年度第1回山ノ内町総合教育会議ついて

日 時 令和5年9月27日(水) 18:30~20:40

会 場 町文化センター3階ホール

構成員 山ノ内町長 平澤 岳、山ノ内長教育委員会教育長 竹内 延彦

山ノ内町教育長職務代理者 岩本 繁樹

山ノ内町教育委員 堀米 ひろみ、黒岩 博之、山本 均

オブザーバー 町内小中学校長、町総務課、教育委員会事務局

傍聴者 49名 報道関係者 4社

山ノ内町長と教育委員による山ノ内町立小学校の統合を議題に令和5年度第1回山ノ内 町総合教育会議が公開により行われました。

町長と教育委員会の小学校統合に関する主な意見は次のとおりです。

1 総合教育会議の概況

町長と教育委員会の考え

3小学校の1校統合については、児童数の著しい減少が進むなか町長や教育委員も早期統合を実現するべきと一致。

長い議論のなかでようやくまとまった中学校敷地とする小学校統合整備計画(案)を 十分に理解してほしいとする教育委員に対し、町長は中学校敷地では狭く、魅力のある 学校づくりには適さないのではと指摘し、小中一体的な統合先敷地は拙速に進めず十分 に検討するべきとしながらも現状の子どもたちに配慮し、既存の小学校を活用した小学 校の統合を優先に進めるべきとの提案を含め意見交換が行われました。

2 主な発言

町立統合小学校整備計画案について	
町長の統合に関する発言	教育委員の発言
計画案が示す統合小学校の「基本方針」、	計画案は、町長が言う移住者が増える
<u>目指す学校像、目指す子どもの姿などは否</u>	ための学校づくりを目的に作成されたも
定しない。移住者が増えるほどの魅力的な	<u>のではなく</u> 、 <u>町民の想いを今の子どもた</u>
<u>学校教育</u> を目指して、プラスアルファを加	<u>ちのために作成したもの</u> 。案に示されて
えてほしいと考える。	いる基本構想が実現できれば素晴らしい
	教育ができると考える。

統合小学校の位置について

町長の統合に関する発言

現状の<u>中学校敷地では狭く中学校敷地に</u> 固執する必要はないと考える。

山ノ内町の教育としては、広い敷地で児 童がのびのびと教育を受けられる学校づく りを想定してほしい。

中学校敷地に建設するならば、周辺の用地買収も視野に入れた設計をするべき。

中学校敷地以外も視野に入れて地域エゴ にとらわれないひとつの山ノ内町としてベ ストな候補地を検討するべきと考える。

教育委員の発言

地域の合意形成を積み重ねてきた中で 中学校敷地を候補地として進めている。 仮に既存校舎を選択する場合、いずれの 既存校舎を活用するかの議論に戻ること で統合が先送りになりかねない。

用地買収は必要と感じるが、土地は個人の大切な財産であることから慎重に進める必要があると考える。

また、将来の小中一貫教育となった場合の中学校敷地は決して狭くない。

町長の統合に関するおもい

<魅力ある教育>

教育内容と教育環境が揃ってはじめて魅力ある教育と言える。

移住者も町の教育を受けたいと思うような、人口が増える教育内容と教育環境が重要。町としては、山ノ内町に住む人、新しく移住してくる人双方にとって魅力と感じる ものや価値のあるものを具体的に考え投資をしたい。

<統合と敷地について>

現状は小中一貫教育や義務教育学校については十分な議論が尽くされていないのではないか。方向性として、子どもが減少する中での教育の充実のために決定している「3校を1校に統合」と、内容未定の小中一貫校や連携などに関わる「中学校に隣接した敷地への新校舎建築」は切り離して考えるべきと考える。魅力ある学校が中学校敷地でできるのであれば反対しない。

<これからの時代にマッチした魅力のある教育を目指して>

国際化が進み山ノ内町も国際的な観光地になりつつある現状を考えると、英語が話せるための英語教育は必須。将来は外国人町民も増えることが予想され、インターナショナルクラスなどの開設やスポーツクラブとの連携など、新しいスタイルの公共教育も視野に入れていく必要があると考える。